



決算説明資料

—— 2027 年 3 月期 第1四半期 ——

2026.07.27

2027年3月期 第1四半期

決算概況

決算概況－B/S

	連結	単体	単体	YonY	
	FY2025 Q1 24年4-6月	FY2026 Q1 25年4-6月	FY2027 Q1 26年4-6月	増減	増減率
単位：百万円					
流動資産	18,285	22,222	26,252	4,030	18.1%
貸与資産	13,858	14,483	15,060	557	4.0%
固定資産	47,172	47,530	50,399	2,869	6.0%
総資産	65,457	69,752	76,652	6,899	9.9%
流動負債	4,282	5,052	5,857	805	15.9%
純資産	59,380	62,594	67,509	4,914	7.9%
自己資本比率 (%)	90.7%	89.7%	88.1%	-	-
1株当たり純資産 (円)	3,779.43	4,005.52	4,355.93	350.41	8.7%

決算概況－P/L

前期までに新店したモジュールベースの認知度向上に加え、Web広告やSNSを用いた積極的なプロモーション、紹介制度の活用により、既存展示場の稼働および受注の底上げが図れ、売上・利益の増加に寄与いたしました。

また、中東情勢に起因する資材供給不安に対しては、展示場在庫の潤沢な確保や貸与資産の増産を継続したことが奏功し、販売棟数とレンタル稼働の増加に繋がりました。

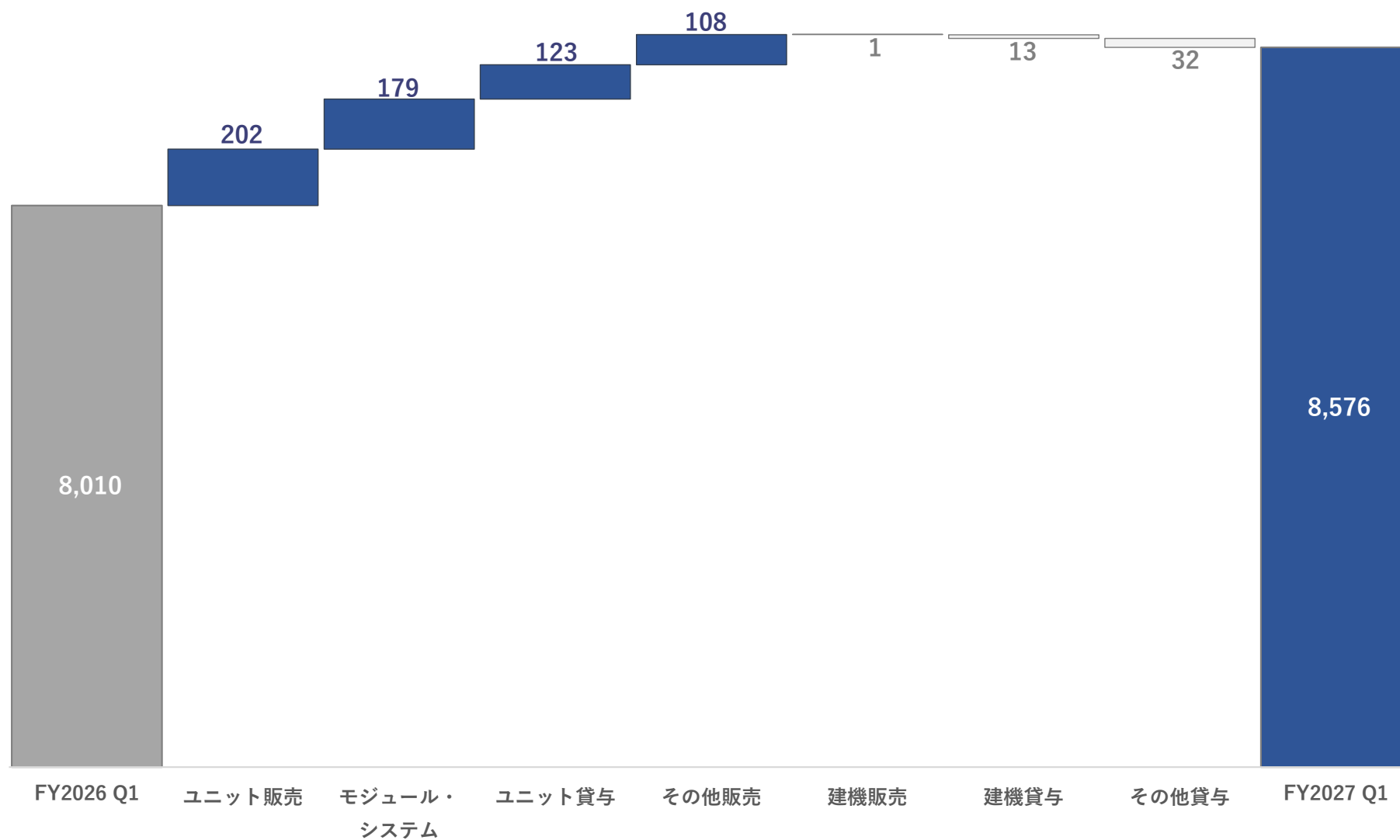
利益面においては、全社的な経費削減に取り組んだことも、大幅な増益を後押しする要因となっております。

	連結	単体	単体	YonY	
	FY2025 Q1 24年4-6月	FY2026 Q1 25年4-6月	FY2027 Q1 26年4-6月	増減	増減率
売上高	8,463	8,010	8,576	565	7.1%
売上総利益	3,217	3,192	3,409	217	6.8%
営業利益	901	745	982	237	31.9%
経常利益	1,160	1,119	1,406	287	25.6%
当期純利益 (※)	770	742	918	175	23.6%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

決算概況－要素別売上高増減

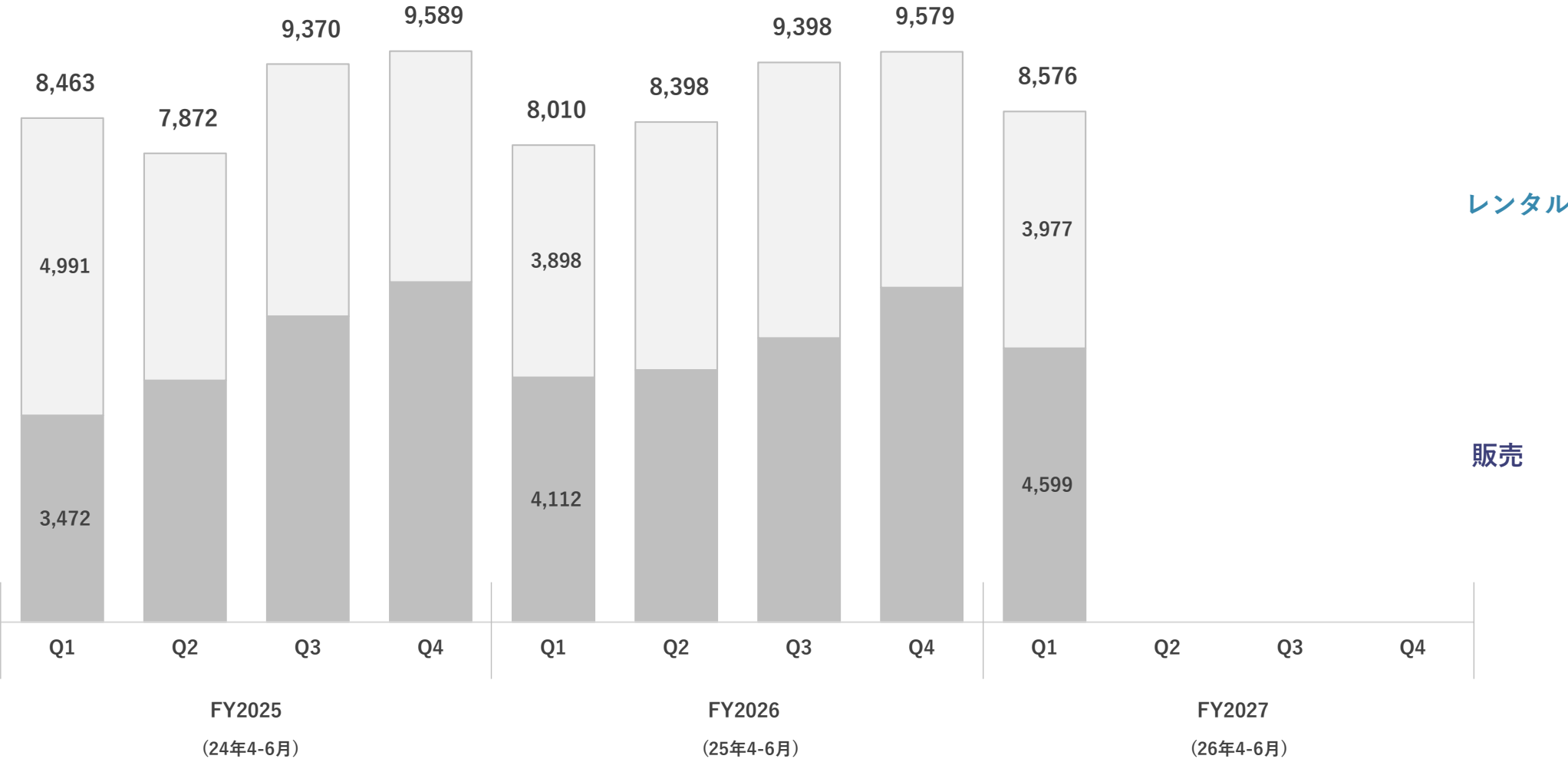
単位：百万円



決算概況－四半期ごとの売上高推移

単位：百万円

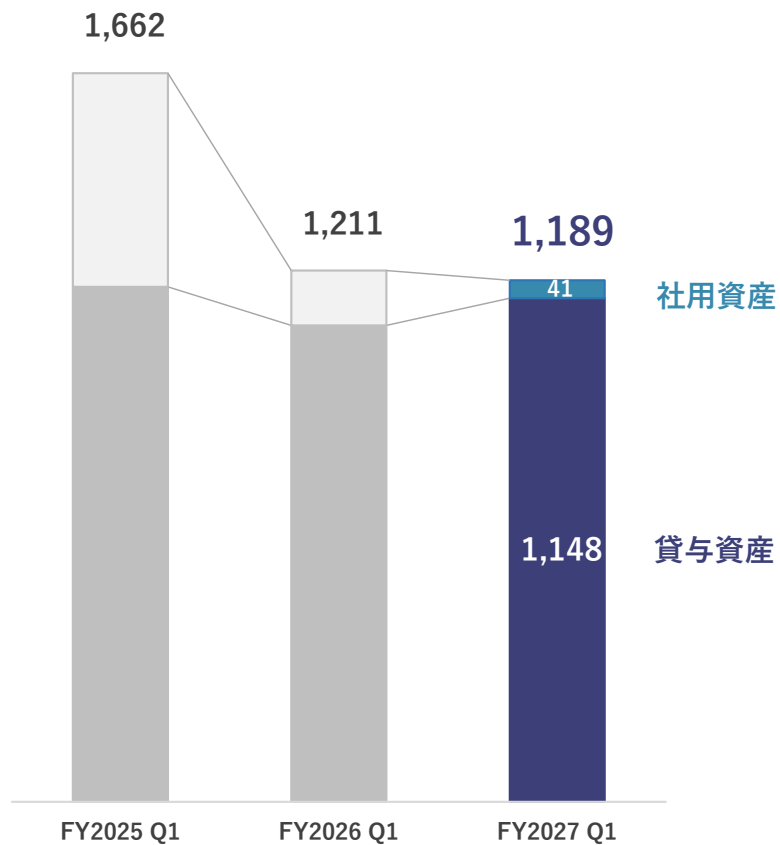
← 連結 → ← 単体 →



設備投資額と減価償却額

設備投資額推移

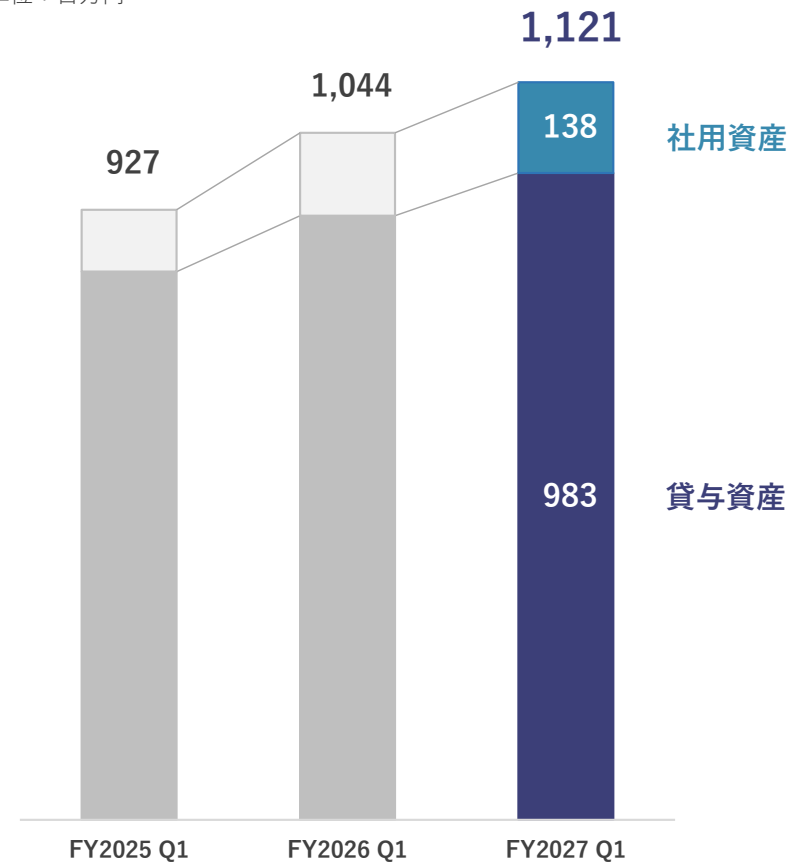
単位：百万円



引続きシェア拡大を目的とした貸与資産への投資を継続しました。
社用資産については、前期と比較し減少していますが、中期経営計画に記載の通り、展示場拡大施策は継続しており、新規出店・リニューアルの設備投資は積極的に計画を進めています。

減価償却額推移

単位：百万円



貸与資産の保有棟数増加及び資材高騰による製造原価アップもあり、減価償却費が増加しました。
社用資産については前期並みに推移しています。

2027年3月期 第1四半期

決算概況

セグメント別

セグメント別

	連結	単体	単体	YonY	
	FY2025 Q1 24年4-6月	FY2026 Q1 25年4-6月	FY2027 Q1 26年4-6月	増減	増減率
単位：百万円					
売上高合計	8,463	8,010	8,576	565	7.1%
ユニットハウス事業	7,596	6,714	7,117	402	6.0%
モジュール・システム建築事業	690	1,108	1,288	179	16.2%
建設機械レンタル事業	176	187	170	△16	△9.0%
営業利益合計	901	745	982	237	31.0%
ユニットハウス事業	879	662	806	144	21.8%
モジュール・システム建築事業	81	86	167	80	94.0%
建設機械レンタル事業	△47	10	21	11	114.8%
全社消去	-	-	-	-	-

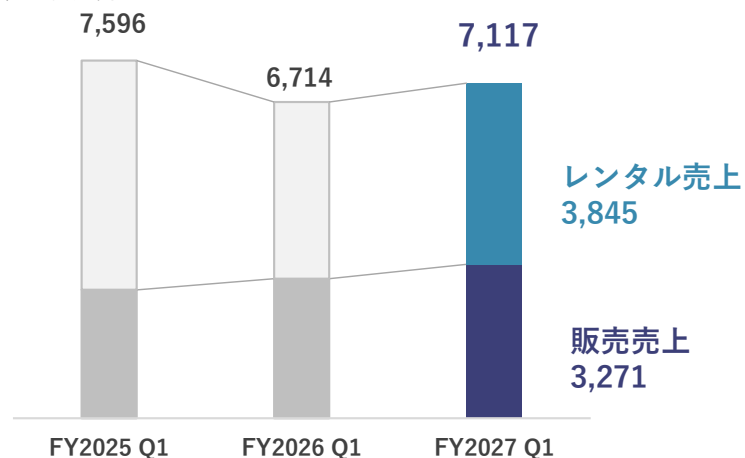
ユニットハウス事業

販売におきましては、Web広告やSNSを用いた積極的なプロモーションに加え、紹介制度を活用したことで、前期までに開設した既存展示場の稼働・受注の底上げが見られました。また、中東情勢に起因する資材供給不安に対し、展示場在庫を潤沢に確保したことが奏功し、販売棟数の増加に伴う売上高の伸長を達成いたしました。

レンタル事業におきましては、販売事業と同様に資材供給不安が継続する中、ユニットハウスの増産体制を維持いたしました。例年より需要の立ち上がりが早期化したエリアに対して安定供給に努めた結果、稼働率の向上へとつながりました。

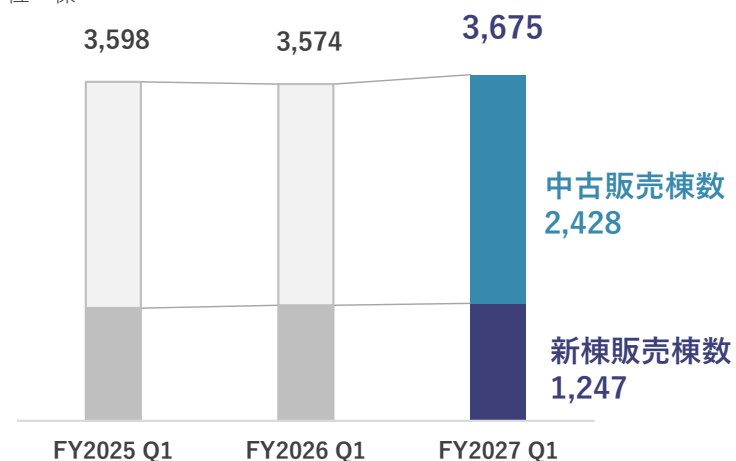
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



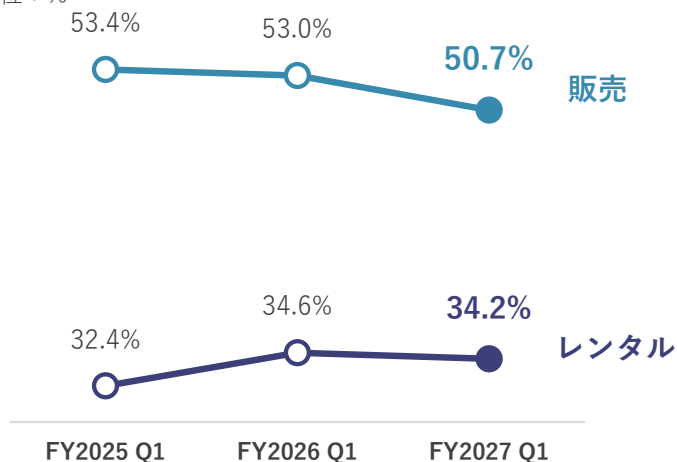
販売棟数

単位：棟



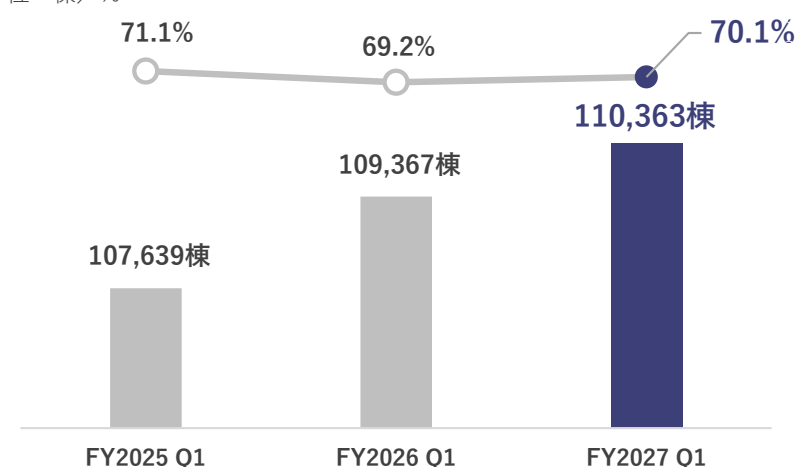
売上総利益率

単位：%



保有棟数と稼働率

単位：棟／%

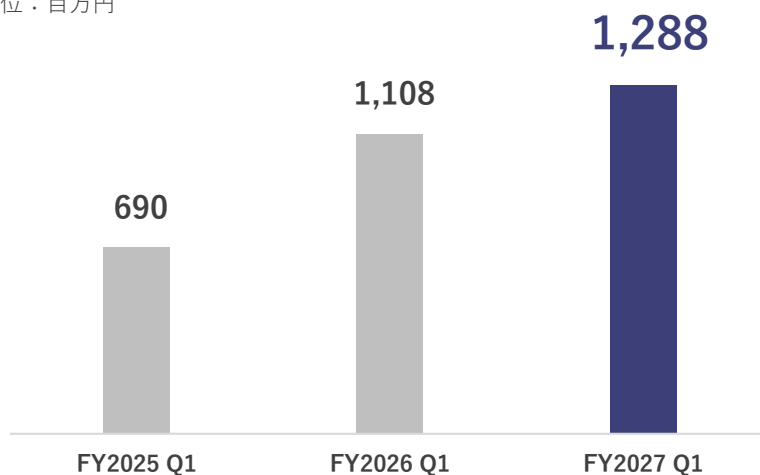




前期までに出店したモジュールベースの認知度向上や、前年度からの繰越受注案件の売上寄与、物件の大型化に伴い、売上高は増加いたしました。
また、現場での原価低減施策の推進により、売上総利益率も上昇しております。

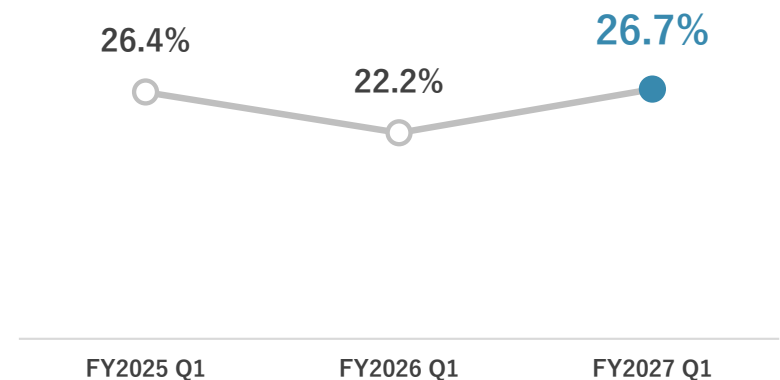
売上高推移

単位：百万円



売上総利益率

単位：%

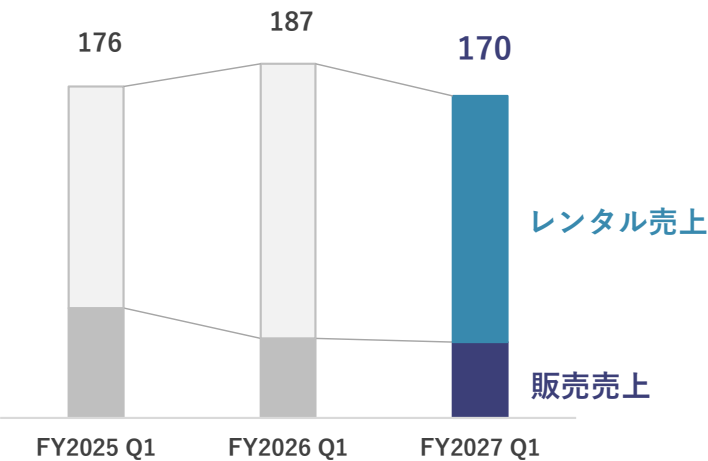




北海道道南エリアにおいては、北海道新幹線や農業土木関連の工事が継続して推移したものの、建設現場の稼働立ち上がりが前年より遅れた影響により、レンタル売上は減少いたしました。
一方で、償却が進んだ自社所有建設機械の売却を進めた結果、売上総利益率は上昇いたしました。

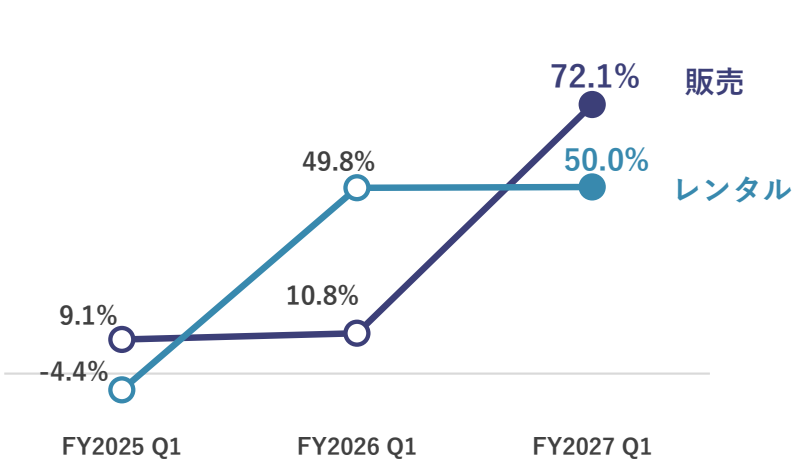
販売売上とレンタル売上

単位：百万円



売上総利益率

単位：%



2027年3月期 第1四半期

業績見通し

業績見通し

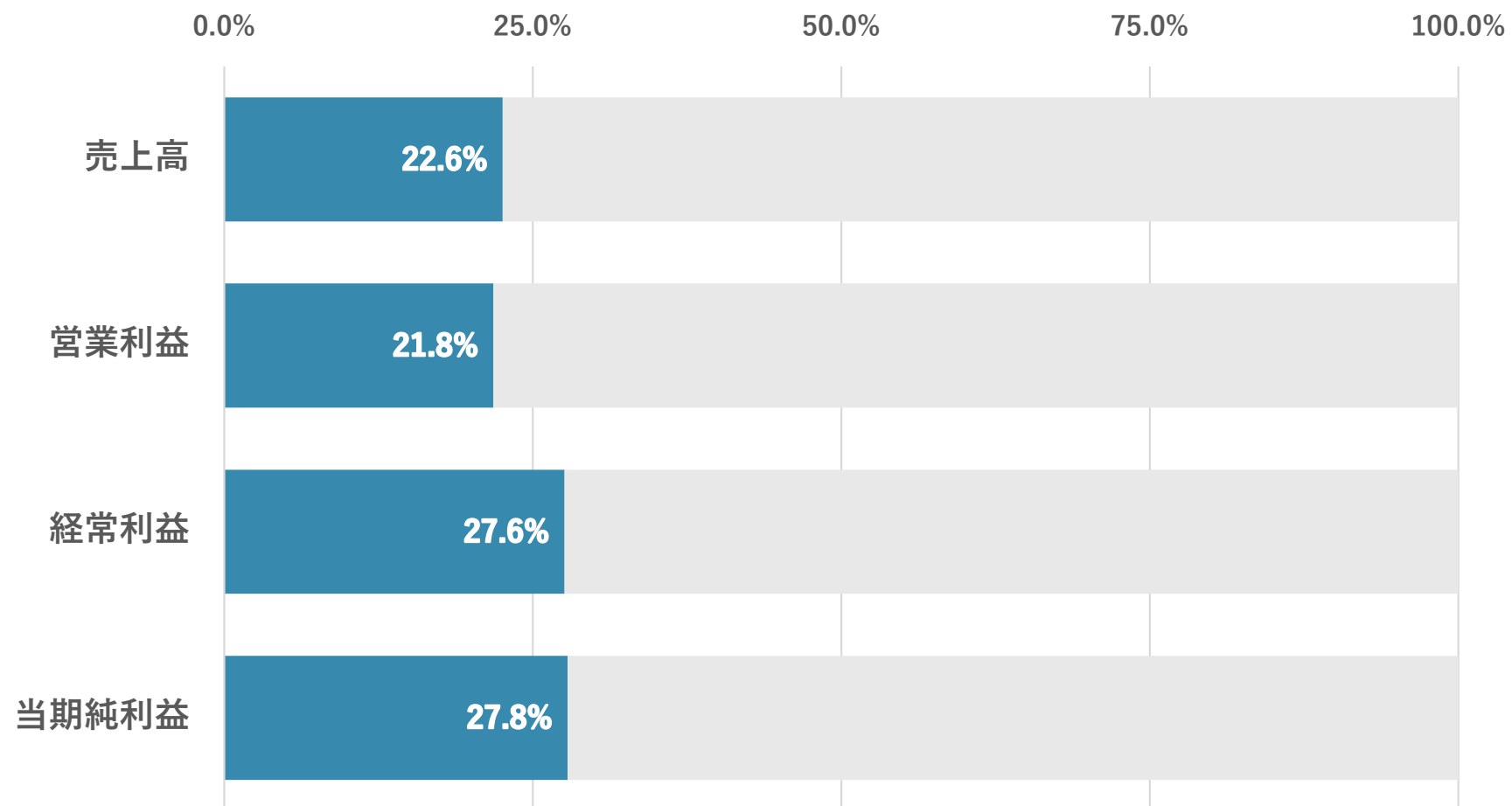
	連結	単体	単体	YonY	
	FY2025 24年4-3月	FY2026 25年4-3月	FY2027 26年4-3月	増減	増減率
単位：百万円					
売上高	35,294	35,385	38,000	2,615	7.3%
営業利益	4,299	4,380	4,500	120	2.7%
経常利益	4,803	5,002	5,100	98	2.0%
当期純利益 (※)	4,213	4,436	3,300	△1,136	△25.6%
総資産	69,758	79,330	83,000	3,670	4.6%
純資産	61,672	69,245	73,000	3,755	5.4%
自己資本比率 (%)	88.4	87.3	88.0	0.7pt	-
1株当たり純資産	3,946.26	4,467.57	4,709.82	242.25	5.4%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

業績見通しーセグメント別

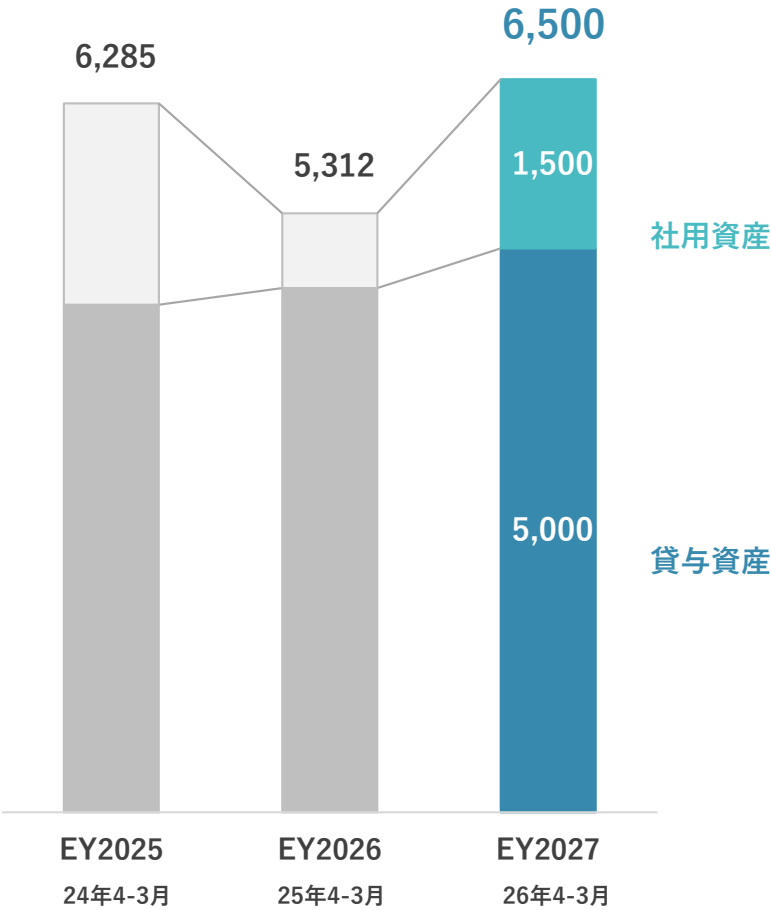
	連結	連結	単体	YonY	
	FY2025 24年4-3月	FY2026 25年4-3月	FY2027 26年4-3月	増減	増減率
単位：百万円					
売上高合計	35,294	35,385	38,000	2,706	7.6%
ユニットハウス事業	29,099	29,066	29,500	434	1.5%
モジュール・システム建築事業	5,238	5,135	7,000	1,865	36.3%
建設機械レンタル事業	956	1,183	1,500	317	26.8%
営業利益合計	4,299	4,380	4,500	120	2.7%
ユニットハウス事業	3,591	3,663	3,720	57	1.6%
モジュール・システム建築事業	711	614	660	46	7.5%
建設機械レンタル事業	40	148	120	△28	△18.9%
全社消去	△44	△44	-	-	-

業績見通し一進捗

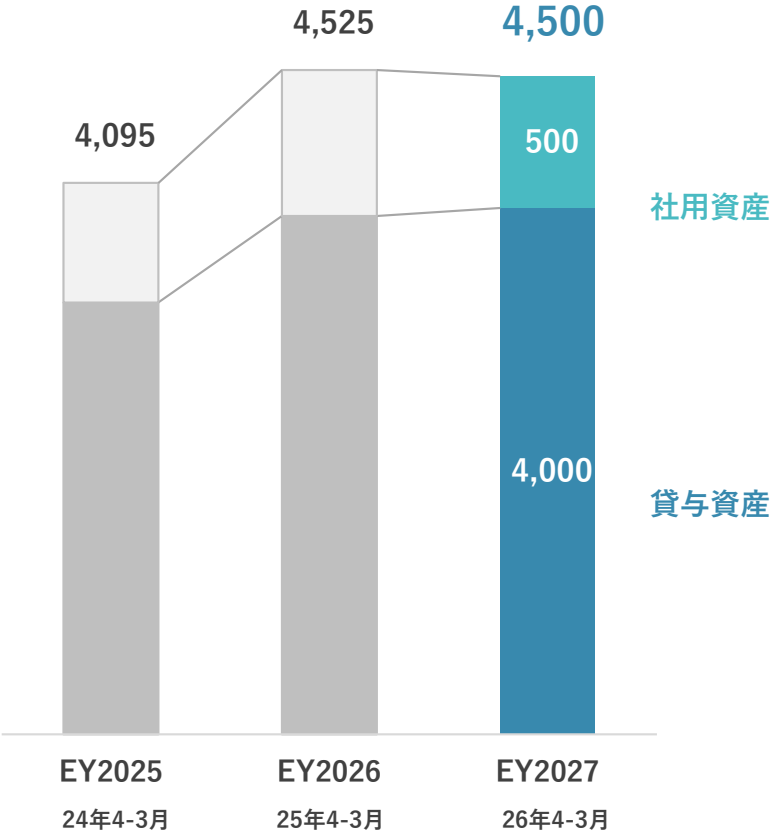


設備投資額と減価償却額

設備投資額推移
単位：百万円



減価償却額推移
単位：百万円



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※詳細は、当社ホームページより
開示情報をご参照ください。

株式会社ナガワ | IR情報

<https://group.nagawa.co.jp/ir.html>

